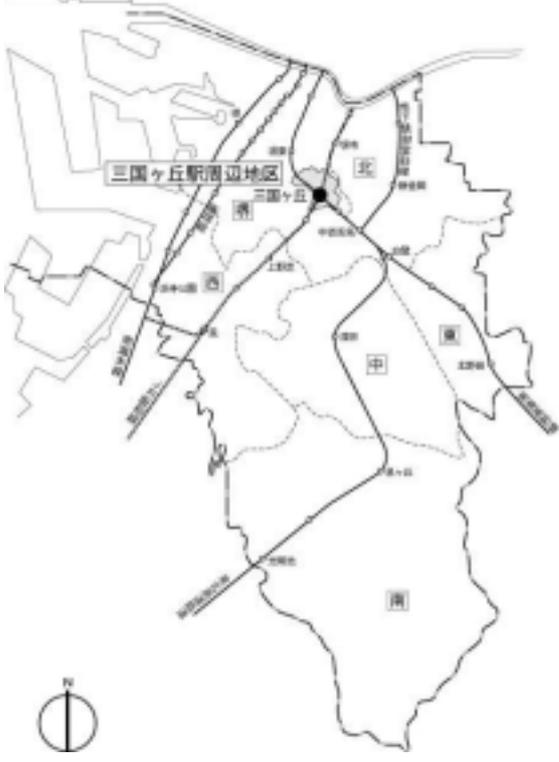


1. 地区特性、交通バリアフリー化からみた主な課題

地区特性	
<p>【データ】</p> <p>1日平均乗降者数……………38,878人/日(実績)</p> <p>高齢者利用者数……………4,221人/日(推定)</p> <p>身体障害者利用者数……………1,007人/日(推定)</p> <p>〔注〕高齢者利用者数 = 1日平均乗降者数() × 市平均高齢者率 身体障害者利用者数 = 1日平均乗降者数() × 市平均身体障害者率</p> <p>駅前広場概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積(北側)……………2,500㎡(既設) バスバース数……………3 ・面積(南側)……………2,760㎡(既設) バスバース数……………1 タクシーバース数……………2 	<p>【位置図】</p> 
<p>【地区特性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本地区は、6つの支所区域のうち、「堺地域」、「北地域」にまたがる、都心に隣接した地区である。近年、商業・住宅施設が集積しており、今後とも、地域の核としての充実をめざしている。 ・仁徳天皇陵をはじめとする百舌鳥古墳群エリアのほぼ中央に位置している。 ・三国ヶ丘駅は、JR阪和線と南海高野線の乗り換え駅で、バス交通との結節点である。 <p>【交通バリアフリー化からみた主な課題】</p> <p>鉄道駅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの駅ともに、駅構内のエレベーター等が未整備である。 ・トイレ等便利施設についても、JR三国ヶ丘駅で未整備であるなど、その機能が不十分である。 ・駅の改良については、地形上、スペース上の制約条件などがある。 <p>駅前広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺における駐輪施設整備による、放置自転車削減による利便性向上が必要である。 <p>道路</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の歩道は2.0M程度の幅員が多く、駅周辺での二輪車・自動車、看板などの障害物の撤去等による有効幅員の確保。 ・段差解消・舗装面の改良。 <p>信号・交差点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定経路における音響信号機等の設置・改良など視覚障害者の横断の安全性の確保の検討。 	

用途地域図



建物用途現況

